

『ゼロの再発見』

～創造的生き方のために～

第二回 海外セミナー鈴木会長 講演

本日のセミナーでは、私の時間は三十分ということで、皆様と「マネージメントクリエイション IN HONG KONG ・フォー・クリエイティブライフ」、「創造的生き方への方策」というタイトルで、全体のプログラムが構成されております。

難しい言葉とか、分かりづらい点とか多々おありかも知れませんが、それは日本に戻って、先輩諸兄に解説をしていただけたら幸いと思っております。

実は、サブタイトルとしまして、フォー・クリエイティブ・ライフ「創造的生き方への方策」とさせていただきます。我が人生から、愚痴と不満を一掃する方法がもしあるならば、是非、そのような事実に対する捉え方、もしくは見方を皆様と共に共有をしたいと思っております。ご存知のように、去年はサイパンに行きまして、私の時間が同じくあったのでお伝えしたことがあります。「自信」というのは、過去の経験に基づいた結果からもたらされる自らの信念であり、故に、プラスの経験がない方に自信を持つといっても持てない。マイナス経験の連続の人に、自信を持ちなさいといっても持てないだろうと。自信をもたらす経験の連続性のルーツは、実は確信から生じてくるんですと。自信はなくとも結構ですから、確信の二文字を日本にお持ち帰りいただきたい。というようなお話を実はしました。

本年は「それはそれで話は分かりました。では、更に大事なものは、どのような物事の捉え方をして、どのような物事の見方をするんだ」という、物事に対する捉え方、もしくは見方の大切さを是非お持ち帰り願いたいと思っております。我が人生から愚痴と不満を一掃する方法があるならば、そのような物事の捉え方もしくは見方を共有したい。こう思っています。

あなたは人生の目的について考えたことはありますか？ 人それぞれに生きてきた年数、環境は違ってはいても、ここで改めて、私たちは何のために生まれてきたんだろうか？ または、私たちは、何の

ために生きているのだろうか？ 通常なかなか考えないテーマかもしれないですが、これを、改めて考えてみようではありませんか。

一般的には、人は人生の目的を「健康の維持・円満な家庭・経済的な欲求・社会的な欲求」等の実現と考えがちですが、総括的、全体的に申し上げるならば、それは、幸福な生活を実現することとなるのではないのでしょうか。しかし、今申し上げたような幸福の実現は、どこまで行っても、どのように整えられても、あくまでも整えられた環境の実現であり、この環境が破壊されたならば、当然、結果としては消滅する、消え去ってしまう幸福となるのではないのでしょうか？ 健康が損なわれた。円満な家庭ではなくなった。もしくは経済的な部分が根底からなくなってしまった。社会的なポジションも失ってしまった……等々の変化が生じたならば、なくなってしまう幸福ではないのでしょうか？ 実は、本当の幸福とは、何時どのようなことが起こっても、外部からの働き、環境の変化によっては絶対に崩れることのない、自分自身の内面に築かれる、力強い生命の実感があるならば、それを我がものにしたなら如何（いかが）でしょうか。

では、どのようにしたならば日々の生活の中で、力強い生命の実感を味わえる自分自身になれるのだろうか。自分を取巻く環境に恵まれていても、自分を取巻く環境に恵まれていなくても、頭が良いとか悪いとかということは別にして、結論的に申し上げるならば、それは、物事という事実に対する捉え方、見方、考え方を再発見することにより、誰にでも手に入れることができるのです。

では、どのような捉え方をしたらいいのでしょうか。時間論的に申し上げるならば、終わってしまった過去の事実は、取り消すことはできません。昨日こちらの空港に着いて、それぞれのフリータイムを過ごしていただきましたが、現時点からすれば、それは全て過去です。当然のことながら、終わってしまった過去の事実は消せない。しかし、過去の事実が意味する真実は、結果的に変えることができるんです。どのようにして？ 捉え方によってです。物事は、結果として起こった現象をどう捉えるかによって、連動して変化していくのです。過去に起こった出来事をバネにして、反省の糧にして生きていける人は、現在を最も豊かに生きている人となるでしょう。また、過去を変えることという意味は、事実が意味する真実を再発見することなんだ。過去という事実を変えることではなくて、過去が意味している真実を再発見すること。それが、過去を変えることになるんです。と定義しているのですが、過去を変えることのできる人は、未来をも変えてい

き、過去を有意義に捉えることのできる人は、自らにモチベーションをかけて、未来に対する豊かな歴史を作っていける人なんです。では、そのような人になるのに必要とされることは何なのでしょう？ それは、私たち一人ひとり、一人の人間における内面的な充実。内面的充実というのは、「この世に生まれ、生きている事実が意味する重大さの再発見から発生する」のです。生まれ、生きている事実というのは、決して安易なことではないのです。何事があっても紛動されない、前向きな生命の状態。マイナス現象が起きたとき、必ずや復元してみせるという内面的な決意のエネルギー、等々の生命の実感は、自らが自覚するかしないかは別にして、自らの内面的変化が生じてこなければ、決して実現することはできないんです。事実に対する捉え方が、今申し上げた、生まれ生きている事実が意味する重大さの認識に気がついたときに、一切の事実に対する捉え方は喜びと感謝の心がベースになるのではないのでしょうか。

そのような方々は、結果的に時間差の流れの中で、価値観は高められ、判断能力がアップし、人間的スケールも大きくなると共に、見えないものが見えてくる事実が気がつき、更なる人間的成長ができるスタートラインに立っていた自分を、発見できることとなるのではないのでしょうか。

では、物事をどう捉えたときに、今申し上げているような事実の実現ができるのでしょうか？ それは、一切の事実は、当たり前ではなかったんだ、という真実に気がつくことなんです。何でもないと思っていたことが、実は重大なことであったとの事実を、再認識することなんです。

例えば給料があります、労働行為の報酬として。過去の事実の連続性が、給料は遅れるものなんだ、二ヶ月も三ヶ月も四ヶ月もという経験を、もしお持ちであったならば、給料日に給料が入っている事実に対して、当たり前ではないんだという捉え方ができる人がいるかもしれません。昨日のフライトも無事にこちらに着きまして、何事もなく本日の今の時間を過ごしております。けれども、もし、何らかのトラブルがあって、無事に今の時間が過ごせなかった ……例えば、今ここに百名弱の皆さんがいらっしゃいますが、その内の何名かは、全く無事で、何名かは軽度の怪我をして、何名かの方は大変重大な怪我をしてしまったという事実が発生し得た可能性も実はあるわけです。事故に遭っても軽く済んだと気がついて喜ぶよりも、実は無事という事実が意味する方が、更に重大なのではないですか？ 病気にな

った場合も然りで、病気が治ってお祝いするのも結構ですけども、病気になるってない事実をどう捉えるんだと。そちらの事実が、過去に様々なマイナス経験の絶対量のある方々は、当たり前には捉えないかもしれない。マイナスからゼロになった時の感謝も大事でしょう。でも、実は「ゼロの再発見の偉大さ」に気がつくべきではないのでしょうか。マイナスからゼロ、もしくはゼロからプラスという変化も素晴らしい変化でしょう。しかし、実はゼロの再発見の偉大さに気がついたときに、結果的に、マネージメントも、ご自分の人間関係も含め、一切の事実が以前とは変化するご自分に気がつくかもしれません。

そのような捉え方ができるかできないかは、事実をどのように捉えるかによって変わってしまいます。感謝の眼差しで全てを捉える人がいたならば、その人は何故そのような捉え方ができるのでしょうか。それは、人間一人では何もすることができず、生きて行くことすらできない現実の姿を、自ら自覚することからスタートするんです。感謝のできる人には歓喜があり、幸福で事実の中に喜びを見出し、心の底から愚痴と不満を一掃し、生きる喜びに満ち溢れた人になるでしょう。一見幸福に見える人でも、愚痴（愚かな迷い）と不満（事実に対する誤認識）がベースにある人は、結果的にその人自身を、その人自身が破壊していく。

人間は鍛えられて、磨かれて成長するんです。草木でも、先ず始めは種をまき、泥をかぶり栄養を与えられ、成長していくのです。人間もまた然り。正しい考え方、捉え方を学び、それを我がものにする成長の過程には、泥をかぶる時が必ずあるんです。このことは、当然自らにとって困難な場面に直面することを意味している。この直面したこと自体をどのように捉えるか。嫌だと考えて逃げるのか、今こそ自己成長ができるチャンスだと捉えて挑むのかが、結果的に人生の分起点となるでしょう。困難に挑戦し、鍛えられた人は、結果として勝負強くもなり、洞察力も高まり、人の気持ちが理解できる魅力的な人間になることができるんじゃないでしょうか。

「今、私たちが目指す生き方は、限りない向上心のもとに、自らが自らに対して限界を定めない生き方であり、周囲に対して優しく接していく生き方、そして、自他共々に豊かになる生き方となるのではないのでしょうか？ 眼前に迫っている二十一世紀、及び今日という日々の連続性を、限りなく豊かに生きていける自分自身の確立を、自分自身の内に実現しようではありませんか」という、実は小冊子を作っておりまして、後ほど、本日のタイムテーブルの最終項目に総括の

時間があります、その時間を通じて、解説とご説明を加えながら進めていく予定でございます。

冒頭に申し上げたように、去年は、自信はなくても確信を持って生きようという事実を、ご参加された方々は、記憶に留めているかも知れません。本年は、同じく申し上げましたように、捉え方の変化が、一切の人間の空間と一切の後半生の人生と……、何年生きるかは別にして、これからも、前半戦の人生と同じように、嫌なことも悲しいことも辛いことも苦しいこともあると思います。私を含めて。でも、起きた現象という事実は別にして、その分母にある感謝と喜びの大きな人と、そうではない人とがいたならば、それは時間の変化と共に巨大な変化となって、形が現れてくるのではないかとこう思っているのです。これからも様々な出来事、嫌なこと、辛いこと、悲しいこと、苦しいことはなくなる。起きてくる事実は間違いのない事実なんですけれども、その事実をどのように捉えることができるのか。それは私を含め、個々人、皆様一人ひとりの問題だと思っております。

正しい捉え方、正しい考え方、感謝ができる見方、感動をもたらす人生、等々の違いは全て、事実をどのように捉えるかの一点から違って来る。ということをご一緒に確認をし合って、日本に帰り、それぞれのマネージメント、それぞれの家庭空間、それぞれの友人空間、人間空間の中で、自分の過ちに気がついたならば、是非、今申し上げている視点で、物事を捉えられるご自分を、何年かかるか分かりませんが、目指し続けて行きたい。そんなふうに思っております。本日、百名近い皆さんがいらっしゃいますが、多分、それぞれの喜び、それぞれの悲しみ、それぞれの辛さと、ご自分が感じていらっしゃる悩みも、喜びもおありだと思います。それを、自己成長のための追い風として捉えることができるのか？ 愚かな迷いと、事実が意味する真実の発見ができずに、事実に対する誤認識の故に不満の人生を送るのか？ それは、お一人おひとりの問題だと思っております。

今、私たちが目指す生き方は、限りない向上心。ここまでやったから良いんだという向上心ではなくて、限界のない向上心。生涯アイ・エヌ・ジーなんだと。何に対して？ 自己成長というテーマに対して。限りない向上心のもとに、自分が自分に対して限界を定めない、これだけやったから良いという生き方ではなくて、周囲に対し優しく接し、そして、相手も周りも自分も全員が豊かになる生き方ではないの

でしょうか。眼前に迫っている二十一世紀、及び今日という日々の連続性を限りなく豊かに生き抜いていける自身の確立を自身の内に実現するために …… フォー・クリエイティブ・ライフ。

本日初めて参加された方、もしくは勉強を始めて日の浅い方、冒頭に申し上げたように、なかなか理解しづらいという部分が多々あるかもしれませんが、総括の時間を通じて、解説とご説明を加えたいと思っております。素晴らしい捉え方ができるお一人おひとりになって香港を去り、日本で再び頑張り合いたいと思っております。

大変長時間にわたりますけども、あれもこれも、あれもこれもじゃなくて結構ですから、何か一つで結構です、香港に来て良かったという事実を残してお帰りになっていただきたいと、強く念願しております。本日はありがとうございました。よろしく申し上げます。